

# 第50回指定都市市長会

# 新型コロナウイルス

COVID-19  
SARS-CoV-2



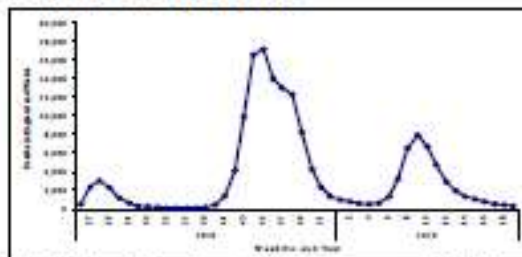
川崎市健康安全研究所  
岡部信彦  
令和2(2020)年7月20日



# Uncertainty - Pandemic Influenza

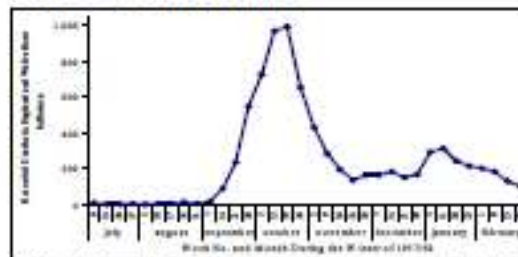
- Three pandemics (1918, 1957, 1968) affecting one country
- Each quite different in shape and some differences in effective reproductive number

## 1918 Pandemic



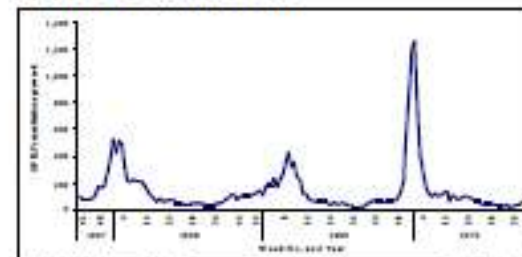
1918/9: Flu Deaths Eng. and Wales

## 1957 Pandemic



1957/8: Flu Deaths Eng. and Wales

## 1968 Pandemic

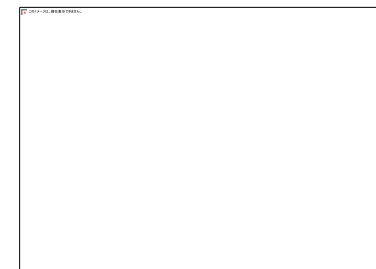


1968/9: GP consults Eng. and Wales

2-3 (US) Mills, Robins, Lipsitch (Nature 2004)  
 1.5-2 (UK) Gani et al (EID 2005)  
 1.5-1.8 (UK) Hall et al (Epidemiol. Infect. 2006)  
 1.5-3.7 (Geneva) Chowell et al (Vaccine 2006)

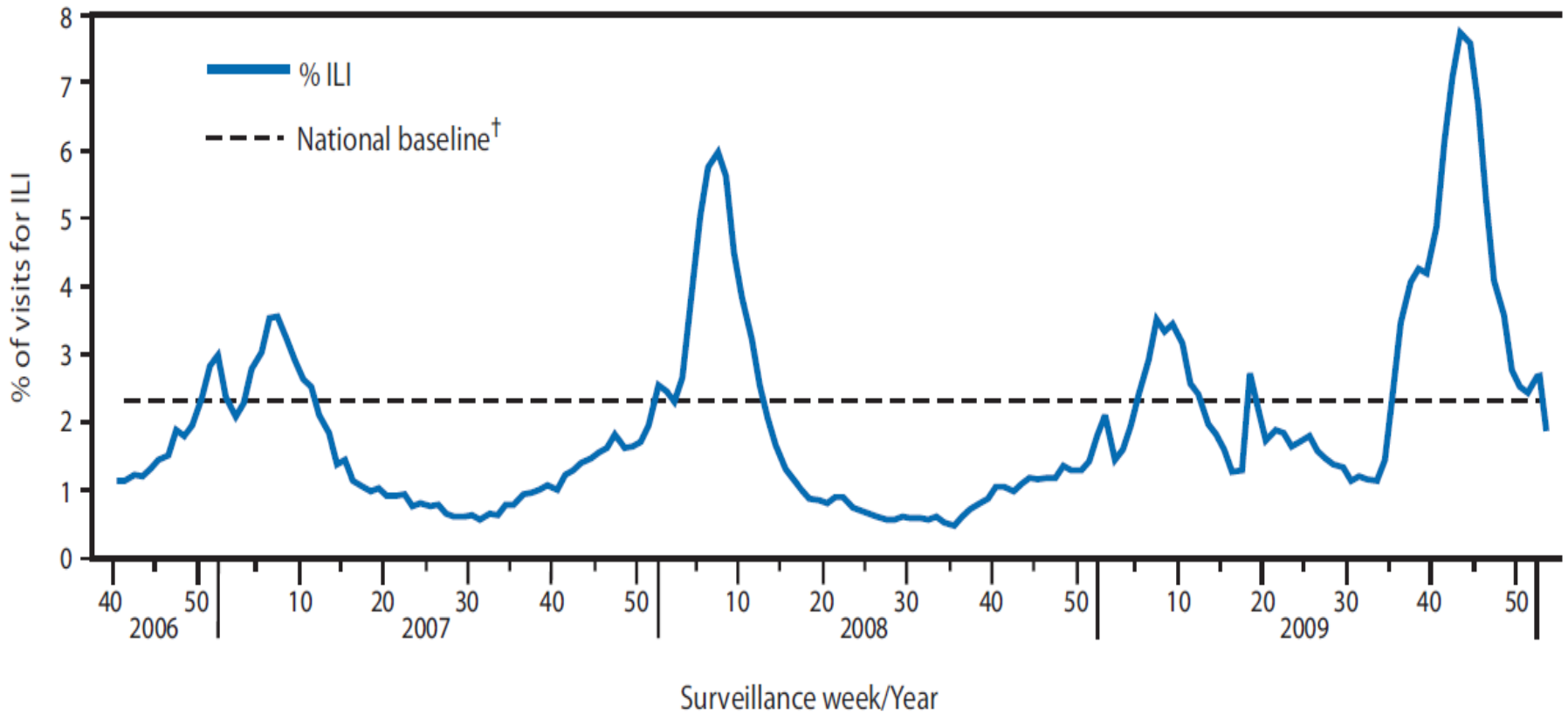
1.8 (UK) Vynnycky, Edmunds (Epidemiol. Infect. 2007)  
 1.65 (UK) Gani et al (EID 2005)  
 1.5 (UK) Hall et al (Epidemiol. Infect. 2006)  
 1.68 Longini et al (Am J Epidem 2004)

1.5-2.2 (World) Cooper et al (PLoS Med. 2006)  
 2.2 (UK) Gani et al (EID 2005)  
 1.3-1.6 (UK) Hall et al (Epidemiol. Infect. 2006)



# 米国 インフルエンザ(インフルエンザ様疾患) 状況

FIGURE 1. Percentage of visits for influenza-like illness (ILI) reported by the U.S. Outpatient Influenza-Like Illness Surveillance Network (ILINet), by surveillance week — United States, 2006–07, 2007–08, 2008–09, and 2009–10\* influenza seasons

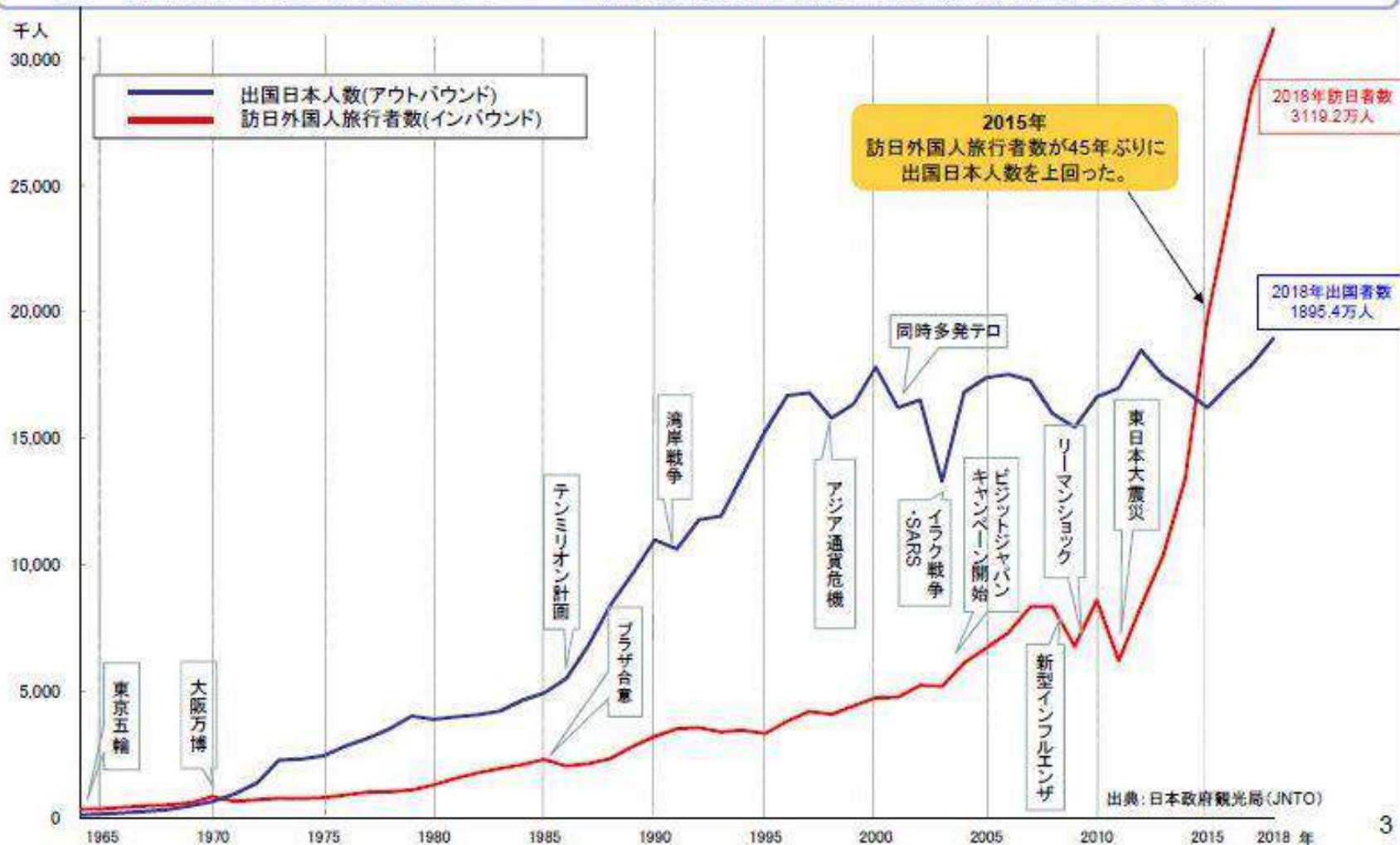


\* Through January 9, 2010.

† The national baseline is the mean percentage of visits for ILI during noninfluenza weeks for the previous three seasons plus two standard deviations. A noninfluenza week is a week during which <10% of specimens tested positive for influenza. Use of the national baseline for regional data is not appropriate.

# 【参考】訪日外客数と出国日本人数の推移（1964年～2018年）

○アウトバウンドは1970年代から右肩上がりに上昇してきたが、2000年以降は増減を繰り返しながら現在に至る。  
一方、インバウンドの急激な伸びにより、2015年には訪日外国人旅行者数が出国日本人数を上回った。



# 新型インフルエンザ(A/H1N1)対策総括会議 報告書 (委員長・金澤一郎)

平成 22 (2010)年 6 月 10 日

## 提言

【病原性等に応じた柔軟な対応】

【迅速・合理的な意思決定システム】

【地方との関係と事前準備】

【感染症危機管理に関わる体制の強化】

【法整備】

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/dl/infu100610-00.pdf>

# 【感染症危機管理に関わる体制の強化】

発生前の段階からの**情報収集・情報提供体制の構築**や**収集した情報の公開**、**発生時の対応を一層強化**することが必要。このため、**厚生労働省、国立感染症研究所**（**感染症情報センターやインフルエンザウイルス研究センターを中心に**）や、**検疫所などの機関、地方自治体の保健所や地方衛生研究所**を含めた**感染症対策に関わる危機管理を専門に担う組織や人員体制の大幅な強化、人材の育成を進めるとともに、関係機関のあり方や相互の役割分担、関係の明確化等**が必要である。

特に**国立感染症研究所**については、**米国CDCを始め各国の感染症を担当する機関を参考にして、より良い組織や人員体制を構築すべき**である。

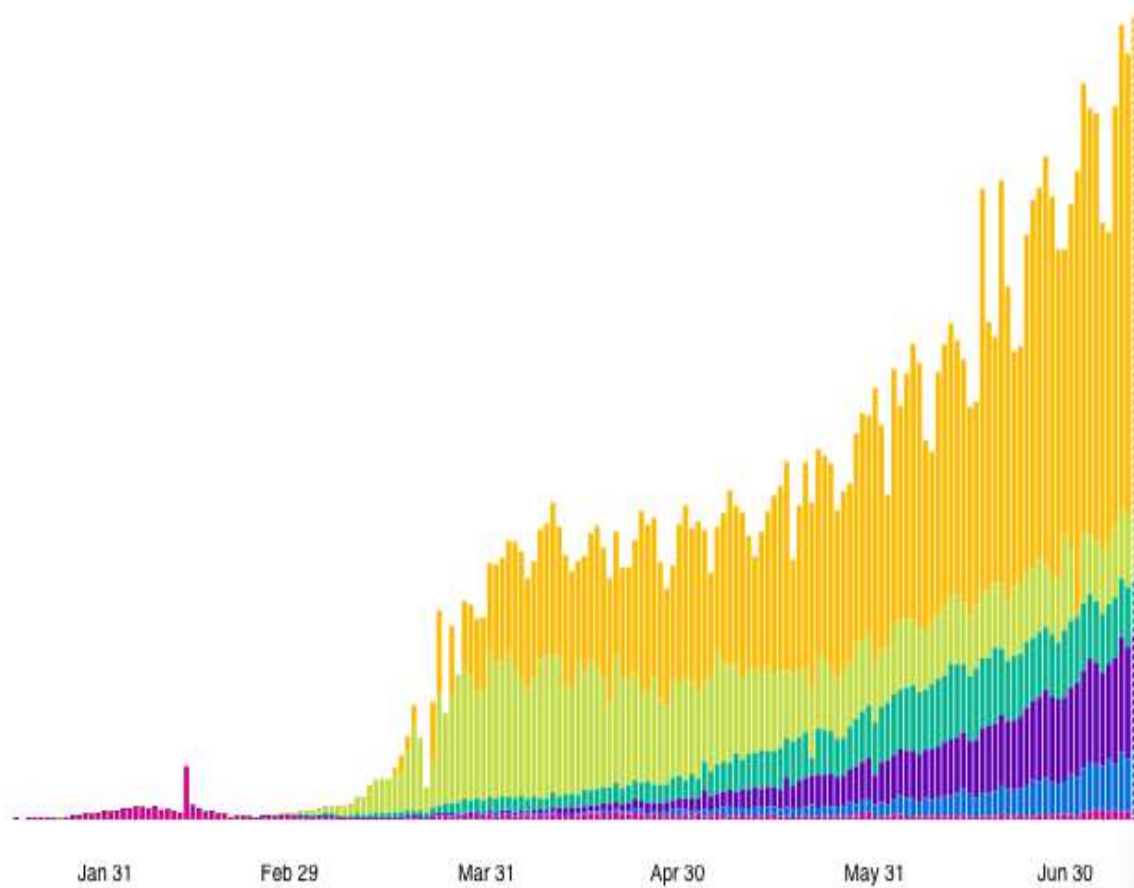
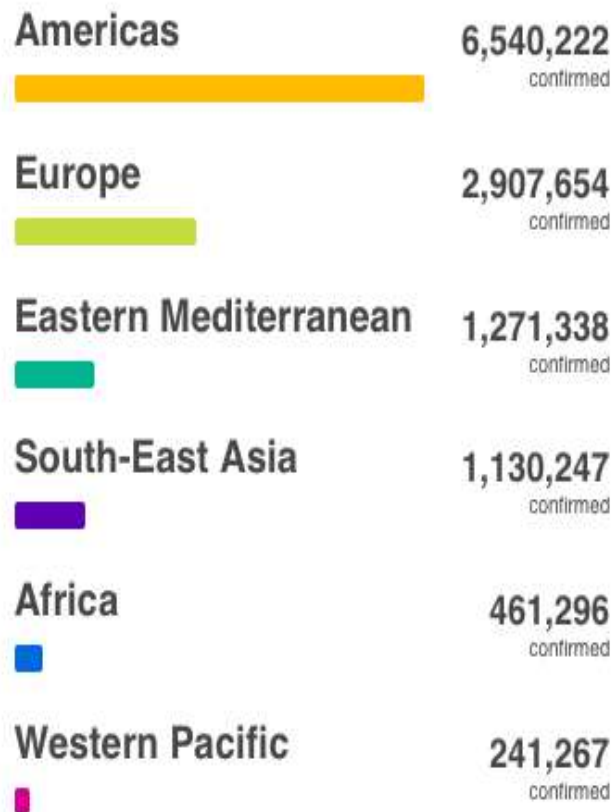
# サーベイランス

各国のサーベイランスの仕組みを参考にしつつ、地方自治体の意見も聞きながら、**国立感染症研究所、保健所、地方衛生研究所も含めた日常からのサーベイランス体制を強化すべきである。**

とりわけ、**地方衛生研究所のPCRを含めた検査体制などについて強化するとともに、地方衛生研究所の法的位置づけについて検討が必要である。**

# WHOによる地域別報告数

2020年7月12日現在



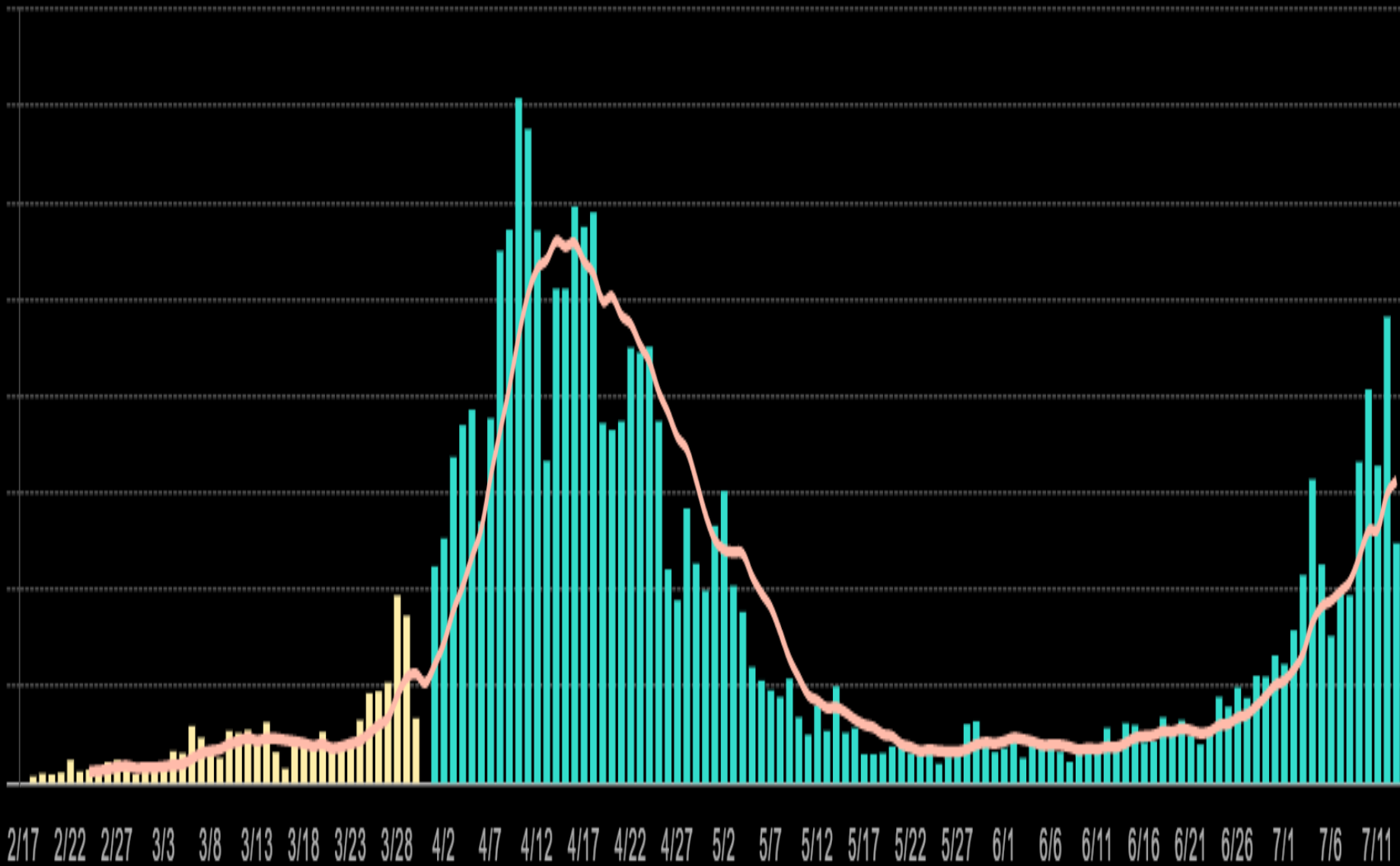
Source: World Health Organization

▨ Data may be incomplete for the current day or week.

<https://covid19.who.int>

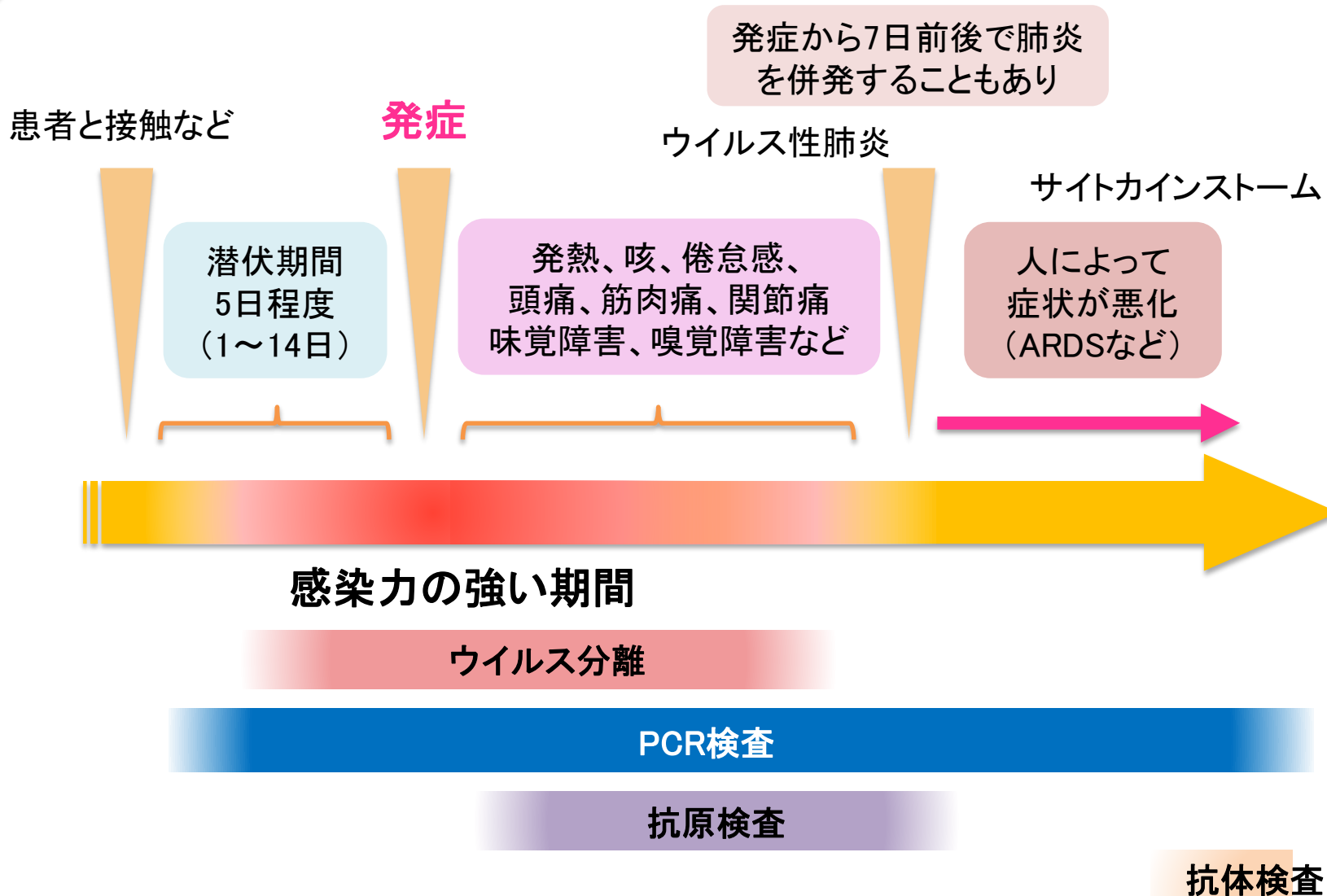


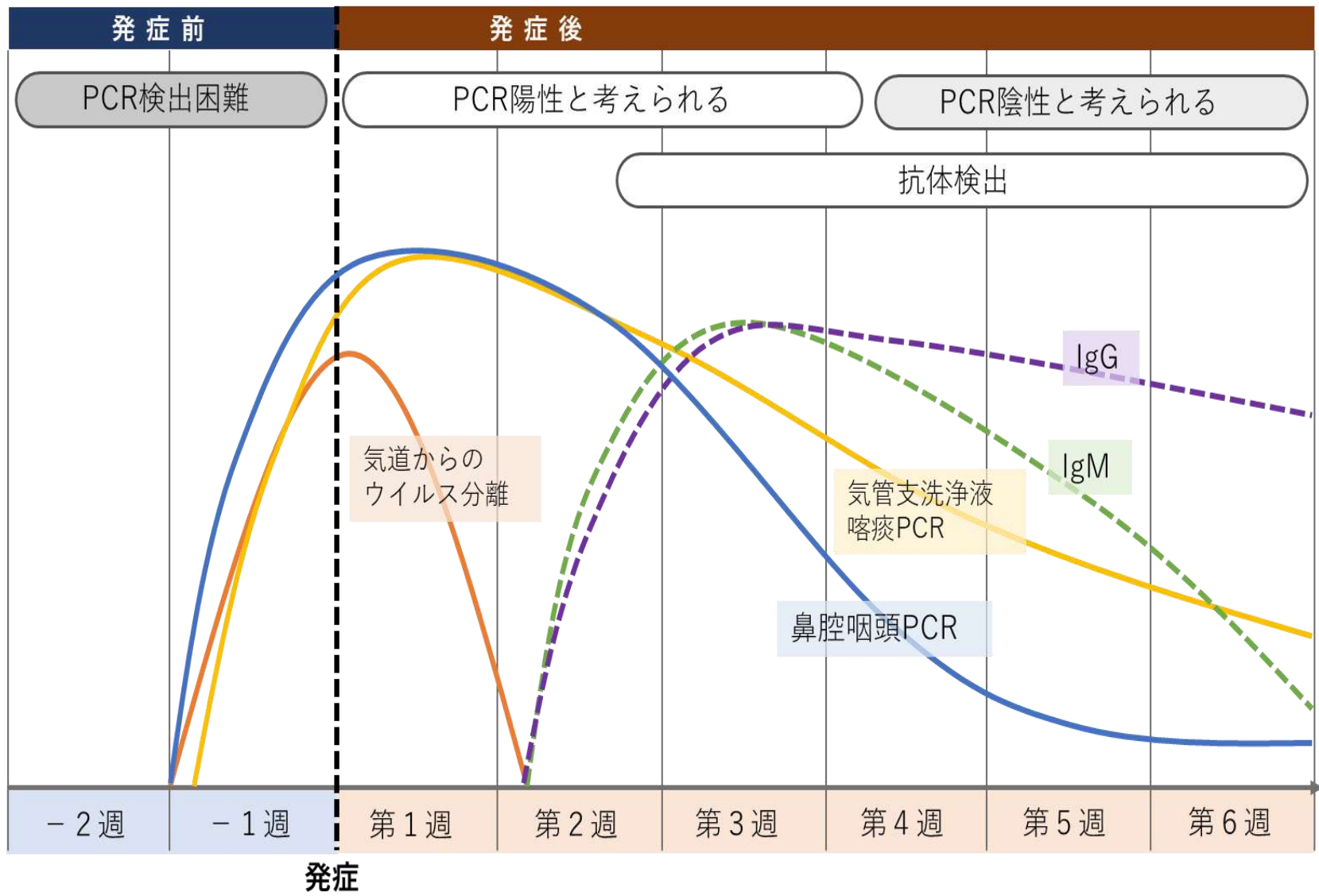
# 新規感染者数 7月13日 時点



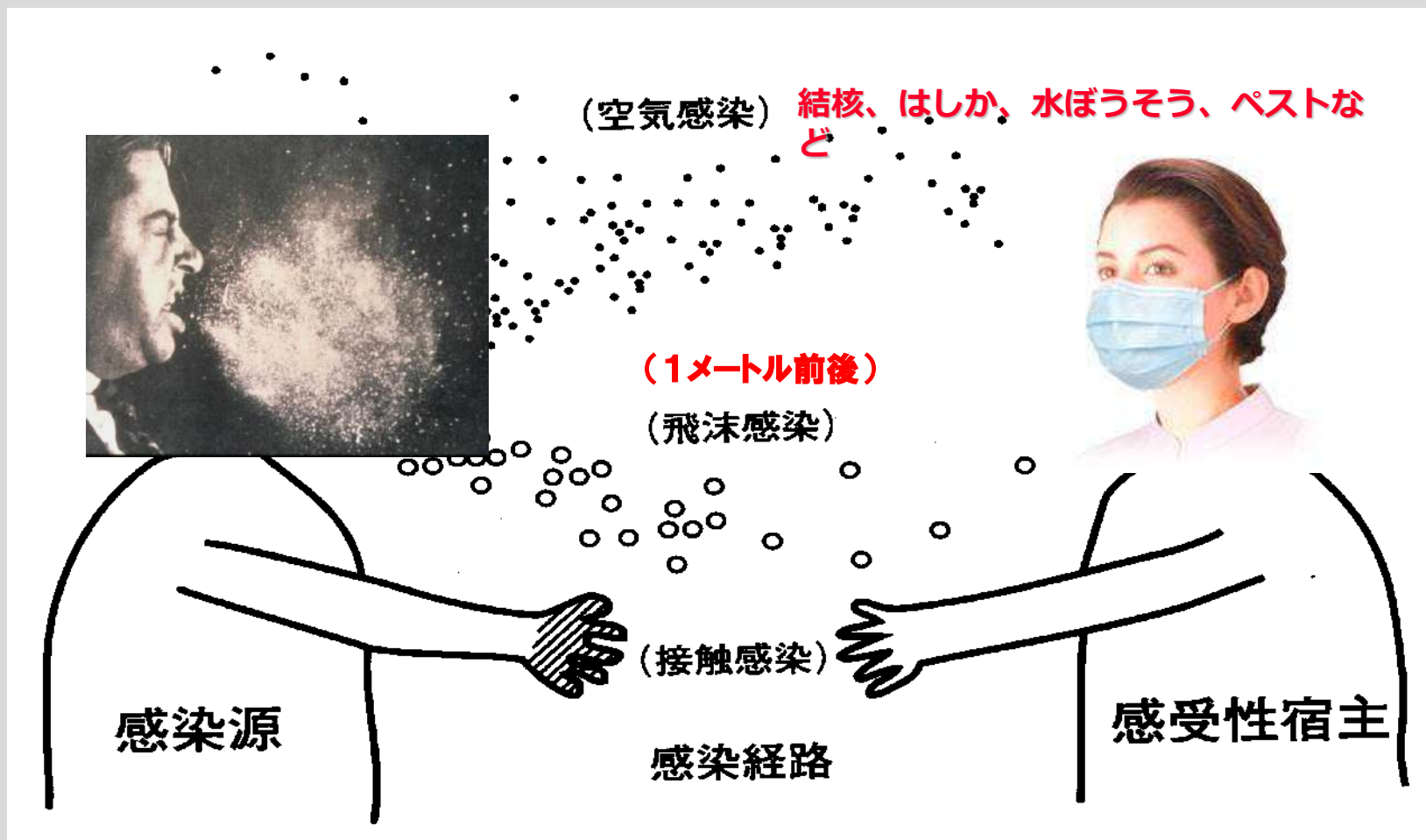
<https://toyokeizai.net/sp/visual/tko/covid19/>

# 典型的な新型コロナウイルス感染症の経過

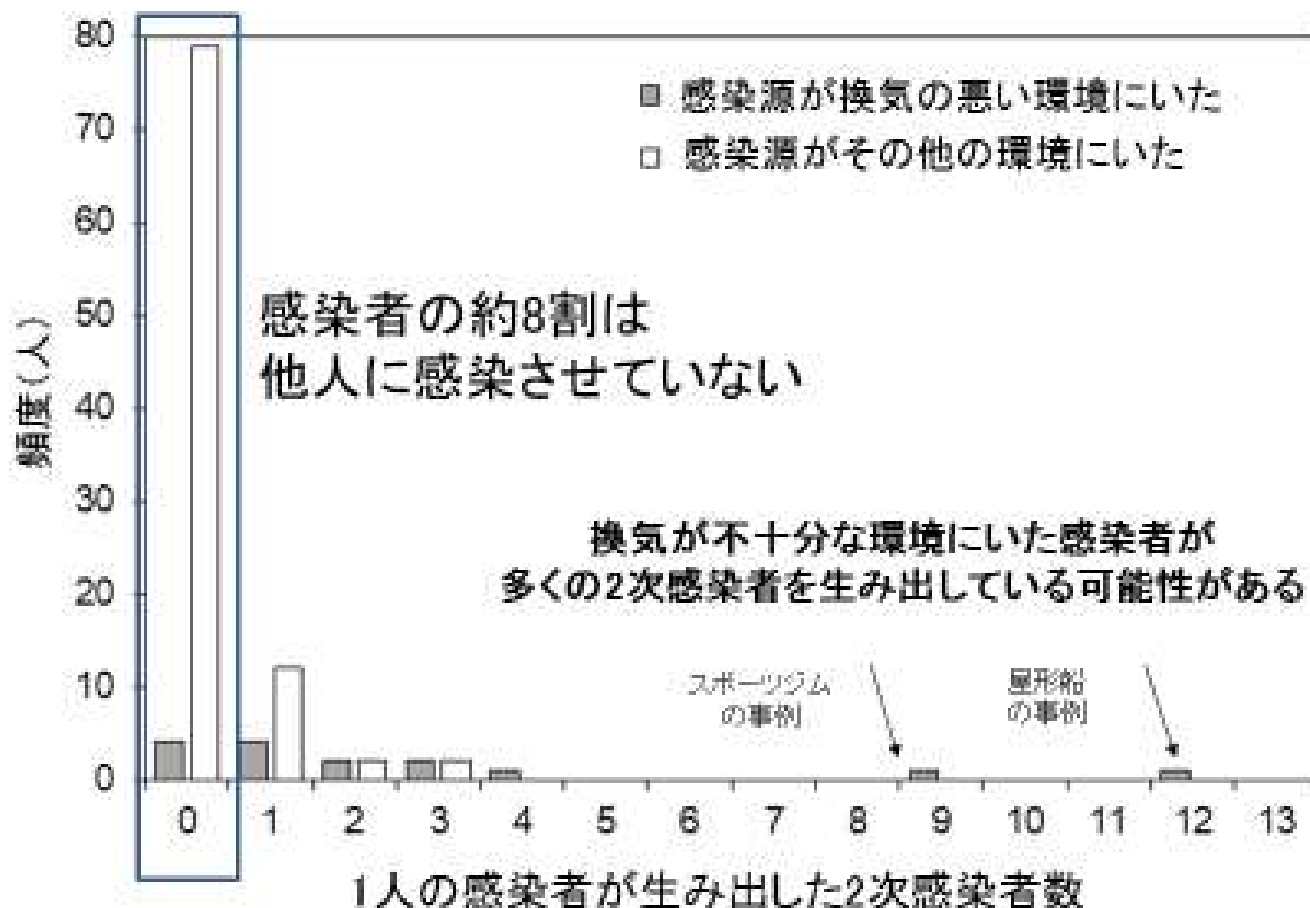




# 感染症予防の基本: 感染経路の遮断



# 一人の感染者が生み出した2次感染者数 (2月26日時点の国内発生110例の分析結果)

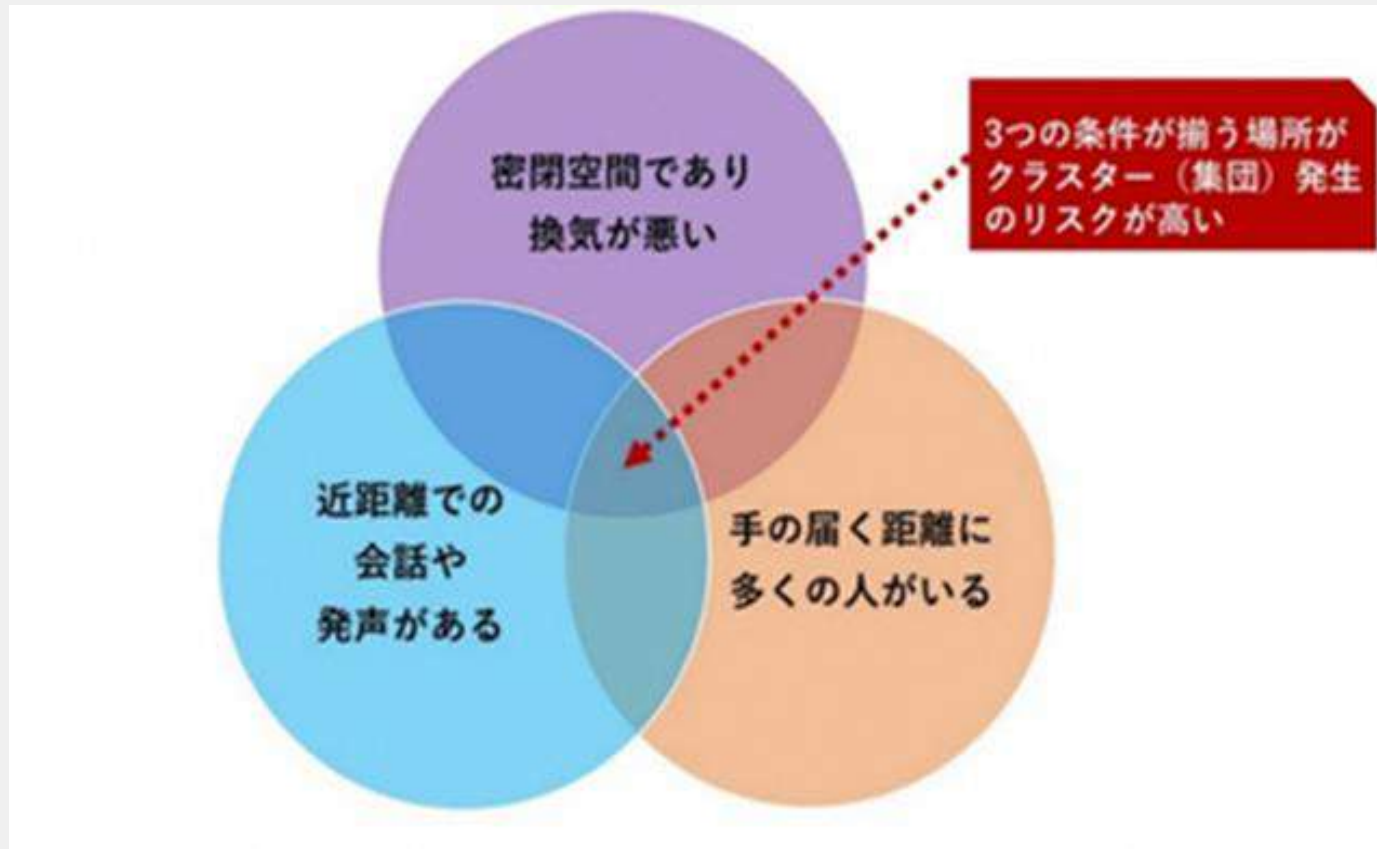


新型コロナウイルス厚生労働省対策本部クラスター対策班

厚生労働省 新型コロナウイルスに関するQ&A (一般の方向け)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_ga\\_00001.html?fbclid=IwAR1ASwDK0KxZddwq8Pg44tryobCb2apUsZfV26qCmV4ON1vSgWJsIXHecew#Q12](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_ga_00001.html?fbclid=IwAR1ASwDK0KxZddwq8Pg44tryobCb2apUsZfV26qCmV4ON1vSgWJsIXHecew#Q12)

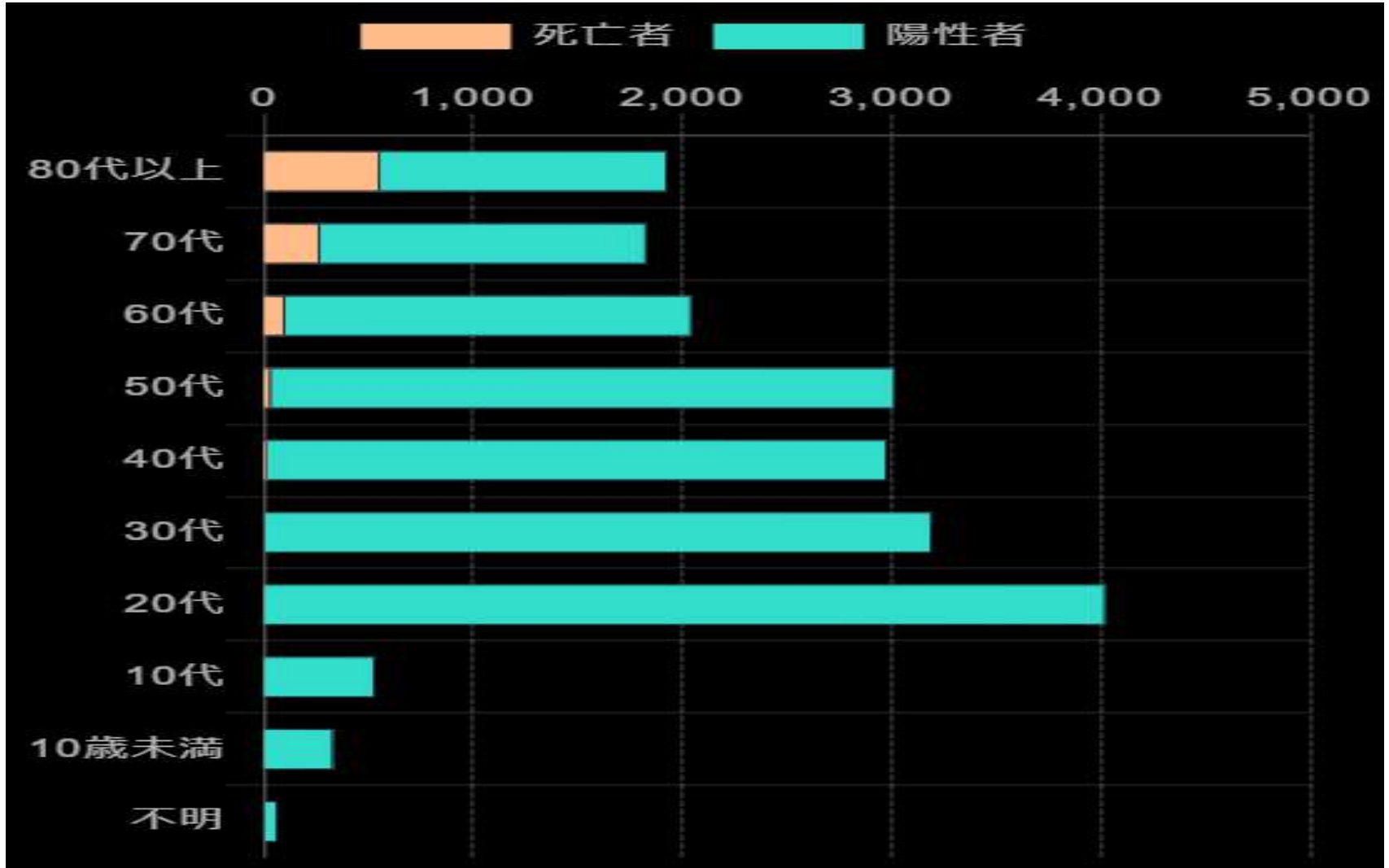
# 集団発生を予防するための人が集まる場での感染対策の考え方



これまでに集団への感染が確認された場の特徴として、

- ①換気の悪い**密閉空間**、
  - ②人が**密集**していた、
  - ③**密接な距離**での会話や発声が行われた、
- という3つの条件が同時に重なる場であった。

# 年齢別感染者数 7月8日 時点

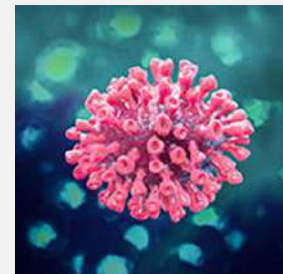
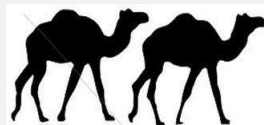


<https://toyokeizai.net/sp/visual/tko/covid19/>

# 【現在感じている課題】

- ・感染症対策の中心は、国か自治体か  
(Centralization? Decentralization?)
- ・都道府県単位の中の**指定都市の立ち位置**
- ・法的整備(強化があるかどうか……、少なくとも救済・補償に関して)
- ・非常事態宣言:  
一般生活の制限ではなく、medical部門だけアラートをかけられないか
- ・臨床研究: 臨床現場における臨床研究の環境の悪さ
- ・疫学調査・ウイルス研究の強化  
感染研、地衛研、地方感染症情報センター、保健所人的・予算的に、  
余裕がない状況(ベッド、医療、保健所、地衛研等……)
- ・小児をどう考えるか(学校・教育)
- ・医学的な「病(やまい)」から、社会・経済・政治の「病(やまい)」へ





我迷惑!!

差別・偏見  
誹謗・中傷 →

ウイルスが嫌うのは  
「人のやさしさ」です

人への思いやりが  
ウイルスをやっつけます



岡部信彦